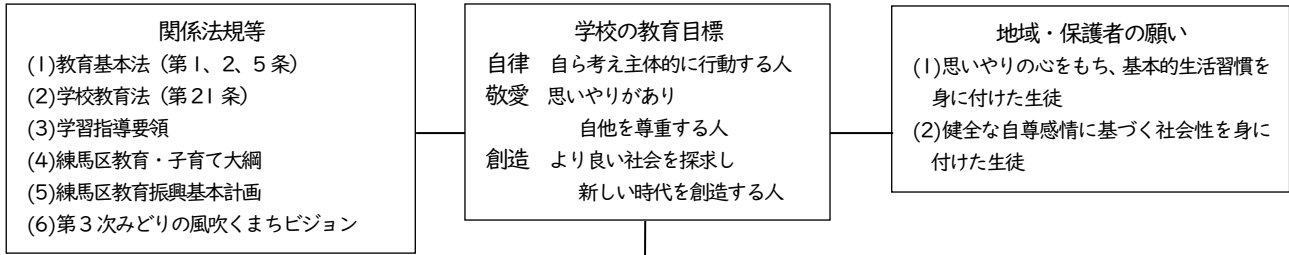


令和8年度 学力向上を図るための全体計画

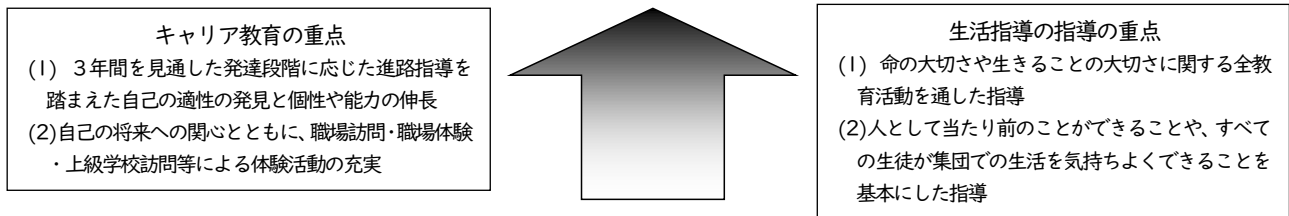
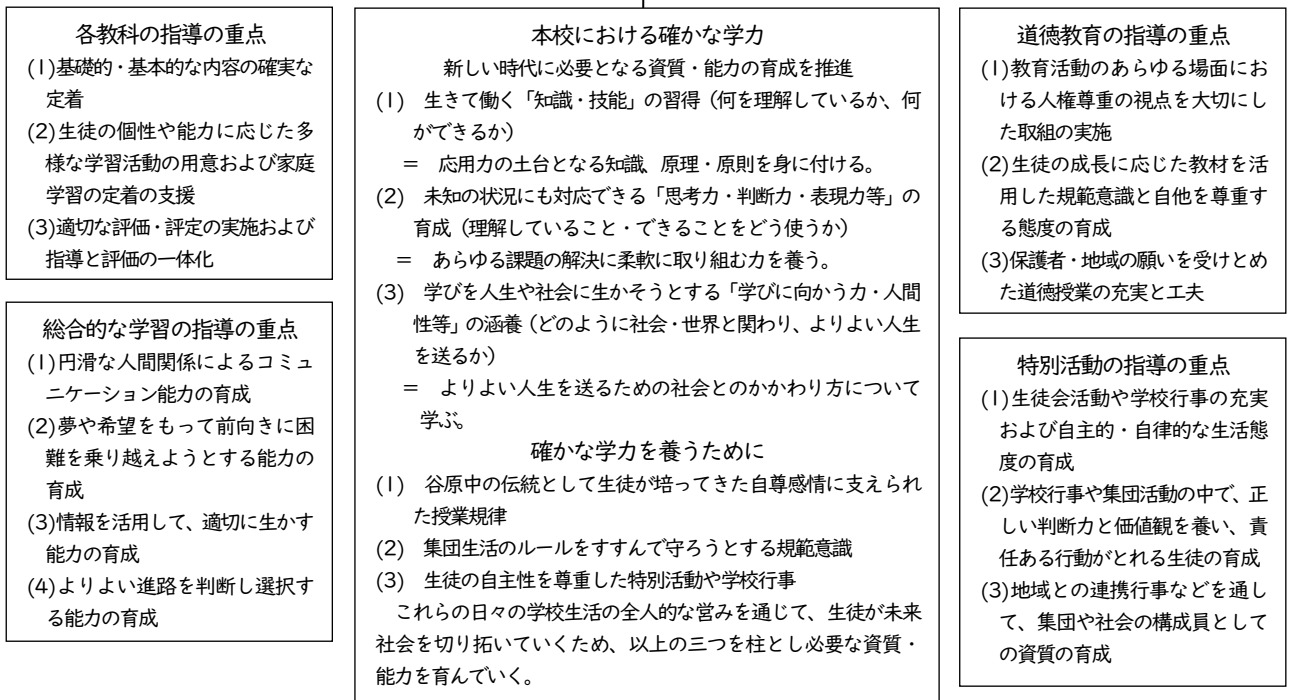


確かな学力と向上に関わる指導の重点 (教育課程届より抜粋)

(2) 確かな学力の定着・向上や、体力の向上および健康の保持増進を図り、主体的に学び続ける子供を育てる教育の推進

ア 確かな学力の定着と向上

- ・ 学力調査等の資料の活用とともに、授業改善推進プランの作成や言語活動の充実を通じて、思考力、判断力、表現力等の育成や主体的で対話的な深い学びに向けた授業改善に努める。
- ・ 適正な評価・評定を行うため、学習活動と評価方法、評価の材料に関する研修を行い、評価規準や評価計画を見直して授業改善に努める。
- ・ 数学科および英語科における指導方法工夫改善の加配教員を活用し、習熟度別少人数授業における指導を通じて個に応じた指導を行う。
- ・ デジタル教科書や学習支援ソフト、タブレット端末を活用した授業改善とともに、地域未来塾を通じて自ら進んで学習に取り組む姿勢を重視した指導を行う。



| 授業改善に向けた視点 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 指導内容・指導方法の工夫 | 教育課程編成上の工夫 | 校内における研究や研修の工夫 | 評価活動の工夫 | 家庭や地域社会との連携の工夫 | 小中一貫教育の視点 |
| (1)授業時数の確保および授業規律を徹底した学習活動の展開 (2)1単位時間の学習目標を明確にした授業 (3)少人数習熟度別授業や個に応じた指導、ICT機器の活用 | (1)行事の精選と授業時数の確保 (2)朝読書と落ち着いた学習環境の確立 (3)長期休業や放課後等を利用した補充学習の充実 (4)外部人材の活用 | (1)教職員の資質向上のための校内研修・研究授業の実施 (2)教員相互の授業参観を通じた授業の充実 (3)ユニバーサルデザインに基づいた教室環境の改善 | (1)評価規準・基準の明示と生徒・保護者への説明 (2)評価精度の向上及び指導と評価の一体化 (3)適正な評価に基づいた授業改善と授業力の向上 | (1)授業参観、学校公開の推進と外部評価の積極的な活用 (2)地域行事への参加と伝統文化の学習 (3)地域人材を活用した地域未来塾 | (1)児童生徒の発達段階に応じた9年間を見据えた課題改善プログラムの活用 (2)学びの連続性を視野に入れた指導の充実 |

授業改善策の検証方法

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| (1) 管理職による授業観察、教員相互での授業参観による検証 | (4) 作品や提出物の評価による検証 |
| (2) 研究授業等の校内研究での検証 | (5) 学校評価における教員の自己評価の検証 |
| (3) 学力調査、定期考査等の結果による検証 | (6) 保護者および生徒アンケートによる検証 |